

エコアクション21

2023年度 環境経営レポート



認証番号0011818



株式会社 東北エヌイーエレクトロ

対象期間：2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月31日
2024年 5月31日発行

目次

1、会社の概要 P 3
2、環境経営方針 P 6
3、実施体制 P 7
4、環境経営目標と環境経営計画 P 8
5、環境経営目標・計画の実績と評価 P10
6、取り組み内容と評価 P14
7、環境関連法規などの遵守状況の確認 (評価の結果、違反・訴訟などの有無) P18
8、次年度の環境経営目標と環境経営計画 P19
9、代表者による全体の評価と見直し・指示 P21



1、会社の概要

事業所名	株式会社 東北エヌイーエレクトロ	
代表者	代表取締役社長 川田 雅彦	
所在地	本社工場	〒999-2172 山形県東置賜郡高畠町大字夏茂24番地
	福沢工場	〒999-2174 山形県東置賜郡高畠町福沢4-899
従業員数	46名	
敷地面積	本社工場	959.04㎡
	福沢工場	430.61㎡
環境管理責任者	吉田 一行	
EA21事務局	涌井 俊則	
連絡先	TEL	(0238) 57-5001
	FAX	(0238) 57-5051
	MAIL	t-wakui@tohoku-ne.com
	H.P	http://tohoku-ne.com
認証・登録範囲	株式会社 東北エヌイーエレクトロ 全組織・全活動	
対象期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月31日	
発行日	2024年 5月31日 発行	



私たちの会社は、山形県の南東部に位置する高畠町にあります。
高畠町は奥羽の山並みの扇状地に拓けた美しく豊かな町です。
その豊かな自然と、歴史ある高畠町の環境を守るため様々な環境活動を展開しています。

会社の歩み

1981年 高島町一本柳にて根津製作所 設立

1984年 有限会社 根津製作所 に組織変更（出資金300万円）

工場増改築

1997年 株式会社 東北エヌイーエレクトロ に組織変更（出資金1000万円）

2010年 工場増改築

2011年 創立30周年

高島町夏茂に本社工場を新設し移転

2013年 ISO9001 認証取得（登録番号：JQA-QMA14926）

2014年 本社工場隣に第二工場増築

2017年 エコアクション21 認証取得（登録番号：0011818）

医療機器製造業 認証取得（登録番号：06BZ200033）

2018年 組織変更 株式会社 コスモスウェブと経営統合

第三工場新設

2019年 福沢工場 稼働開始

2021年 ISO13485 認証取得（登録番号：JQA-MD0163）



2011年 本社工場新設



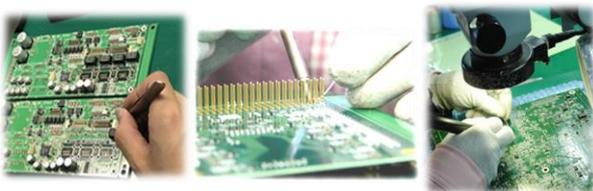
2014年 第二工場増築



2019年 福沢工場 稼働開始

主な使用設備

【手半田付けによる実装】



半田コテ（白光） : FX-951
（その他、用途により高周波半田コテ、リペア機、ブロー 等を使用）

【ハーネス加工・機器組立】



電動式クランパー（大同端子製造） : DH-1B

【 SMT・DIP装置によるマシン実装】



半田印刷機（DEK）	: HORIZON03iX / HORIZON 02i
半田印刷検査機（CKD）	: VP5200L-V
マウンター（YAMAHA発動機）	: YS24+YS100 / YSM20R
リフロー装置（エイテックテクノ）	: AIS-20-82C
（千住金属）	: SNR-1050GT Ver,4.00
DIP噴流槽[有鉛]（セイテック）	: TOM-7-350
DIP噴流槽[無鉛]（セイテック）	: TW-400L
ポイント半田付け装置（セイテック）	: STS-2533Sj

【検査体制】



卓上型基板外観検査装置（SAKI） : BF18D-P40
大型基板外観検査装置（SAKI） : BF-Sirius
X線検査装置（メディエック） : MX-90Basic



2、環境経営方針

基本理念

株式会社 東北エヌイーエレクトロは、電子機器製造及び機器組立等の事業活動が環境に与える影響を認識し、全従業員が地域に密着した環境にやさしい行動に努め、持続的発展が可能な社会の実現及びありがたいの気持ちでお客様、社員の幸福を目指します

行動指針

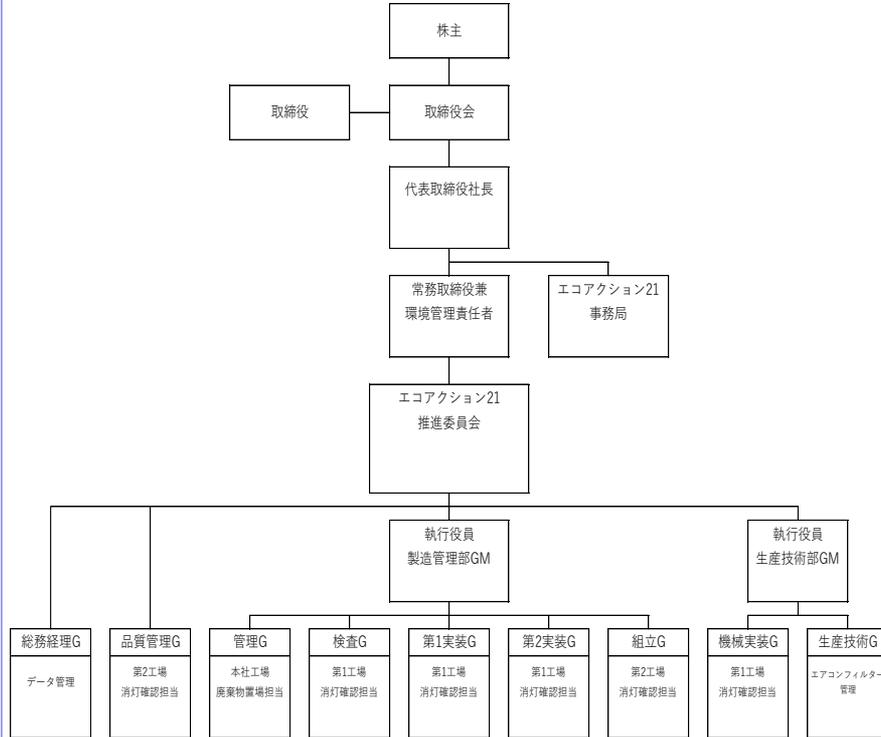
- 1、環境関連法規制・条令等を遵守します。
- 2、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
- 3、資源の効率的な使用を推進し、廃棄物の排出量を削減します。
- 4、水資源の効率的利用に努め、総排水量を削減します。
- 5、化学物質の適正管理に努め、使用量を削減します。
- 6、品質の安定・生産性向上に努め、無駄作業の削減を図り環境に配慮した製品づくりを目指します。
- 7、地域の環境活動に積極的に取り組みます。
- 8、環境方針を全従業員に周知すると共に、目標を設定し継続的に改善します。

制定日 2016年 9月 1日
改定日 2022年 7月 1日
株式会社 東北エヌイーエレクトロ
代表取締役 川田 雅彦



3、実施体制

エコアクション21 実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ●環境経営に関する統括責任 ●経営における課題とチャンス の明確化 ●実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ●環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ●環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を準備する ●環境管理責任者を任命する ●代表者による全体の評価と見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ●環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委譲） ●環境経営目標及び環境経営計画/実績を管理、評価する ●環境への取組みを評価する ●教育・訓練の実施を指示する ●環境上の緊急事態への準備・対応を指示する ●環境関連法規等の取りまとめ表作成遵守評価を実施する ●環境活動の取組み結果を代表者へ報告する
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ●EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて実行委員と共に活動する） ●環境ネットやまがたの窓口業務を行う ●審査に関する対応を行う ●環境関連文書・記録の管理 ●月ごとのデータ集計
エコアクション21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●環境事務局とともにEA21を推進（環境管理責任者の指示を受けて） ●環境への取組チェックを実施する ●事務局と共に環境レポートを作成する ●環境活動のチェック、及び推進
総務経理部門 製造部門 品質管理部門 生産技術部門	<ul style="list-style-type: none"> ●外部環境情報の窓口（総務経理部） ●環境経営目標及び環境経営計画の実施 ●実施上の問題点の是正・予防処置実施 ●各担当の役割を実施する（確認及び、達成状況の報告） <ul style="list-style-type: none"> ・データ管理・・・電気使用量、水使用量等のデータ管理 ・グリーン購入・・・環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する（コピー用紙など） ・工口運転推進・・・“ふんわりアクセル”でやさしく発進や、アイドリングストップなどの推進 ・廃棄物置場・・・適切な分別や廃棄物置場の5Sを管理する ・エアコンフィルター管理・・・2回/年のエアコンフィルター清掃及び交換等の指示、管理 ・消灯確認・・・休憩時間等のこまめな消灯を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ●環境経営方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚する ●日常生活、日々の生産活動の中で、環境に配慮する ●EA21で決められた各自の役割を実施する



4、環境経営目標と環境経営計画

〈 環境経営目標 〉

期間：2023年 4月～2024年 3月

項目		基準年	実績値	環境経営目標（2023年度）		中期経営目標（2021年度～2023年度）			
				内容	目標値	内容	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量 （本社工場）	2018年度	2.40kg-CO2/H	基準年度実績値の5%削減 （電気、ガソリン、軽油、灯油、PLG含む）	2.28kg-CO2/H	基準年度実績値の5%削減 （電気、ガソリン、軽油、灯油、PLG含む）	2.33kg-CO2/H 3%削減	2.31kg-CO2/H 4%削減	2.28kg-CO2/H 5%削減
	■二酸化炭素排出量 （福沢工場）	2020年度	1.73kg-CO2/H	基準年度実績値の3%削減	1.67kg-CO2/H	基準年度実績値の3%削減	1.71kg-CO2/H 1%削減	1.69kg-CO2/H 2%削減	1.67kg-CO2/H 3%削減
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物	2018年度	1,818kg/年	基準年度実績値の2%削減 （コピー用紙リサイクル率向上により、一般廃棄物の削減を実施）	1,781kg/年	基準年度実績値の2%削減 （リサイクル率を増加し、一般廃棄物の削減を図る）	1,799kg/年 1%削減	1,790kg/年 1.5%削減	1,781kg/年 2%削減
	■コピー用紙リサイクル	2019年度	19.8% （購）349.8kg （リサ）69.3kg	コピー用紙（白）のリサイクル率 基準年度実績値の2%アップ	リサイクル率 21.8%	基準年度実績値から2%増加 （購入量とリサイクル量から算出）	リサイクル率 20.8% 1%増加	リサイクル率 21.3% 1.5%増加	リサイクル率 21.8% 2%増加
	■産業廃棄物	2015年度	2,480kg/年	分別管理の徹底、 回収業者への分別協力	-	実績把握と分別の徹底 （回収業者への分別協力の継続）	-	-	-
水使用量の削減	■上水 （本社工場）	2017年度	34.0m³/月	管理と節水の呼びかけ 基準年度実績値の5%削減	32.3m³/月	基準年度実績値の5%削減	32.9m³/月 3%削減	32.6m³/月 4%削減	32.3m³/月 5%削減
	■上水 （福沢工場）	2020年度	6.0m³/月	管理と節水の呼びかけ 基準年度実績値の3%削減	5.8m³/月	基準年度実績値の3%削減	5.9m³/月 1%削減	5.9m³/月 2%削減	5.8m³/月 3%削減
化学物質使用量の削減	■化学物質	-	-	適正管理の実施 （使用量が少量のため、保管・管理を徹底する）	-	適正管理の実施	-	-	-
製品・サービス関連	■品質向上	2020年度	16.8H/月	後戻り工程の削減 （基準年度実績値の6%削減）	15.8H/月	基準年度実績値の6%削減	16.5H/月 2%削減	16.1H/月 4%削減	15.8H/月 6%削減
その他	■コミュニケーション向上	-	-	環境教育の実施	1回/年	環境に関する教育を実施する	1回/年		
	■地域貢献活動	-	-	会社周辺の清掃活動 （道路・側溝等、春秋を予定）	2回/年	会社周辺の清掃活動	2回/年		



〈 環境経営計画 〉

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつ)	該当場所・部門 (どこで)	担当者 (だれが)	持続可能な未来へ！ TNEのSDGs	
①二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	8月、12月	全社	生産技術G	  	
		■照明器具の改善	通年		EA21事務局		
		■デマンド管理の有効活用			全社員		
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	通年	全社有車	社有車運転者	  	
		■アイドリング時間の削減			総務G		
		■急発進、急加速はしない ■不要な荷物はおろす ■タイヤの空気圧を定期的に調整する ■エコ運転カードの社有車への設置					
■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■クールビズの促進 ※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	冷房期	全社	全社員			
	■ウォームビズの促進 ※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	暖房期					
②廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■分別の徹底	通年	全社	全社員	 	
		■コピー用紙のリサイクル継続		廃棄物置場			EA21事務局
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の継続）		全社			全社員
	■トレットペーパーは芯なしを使用継続	廃棄物置場		EA21事務局			
■産業廃棄物の適正管理	■保管場所の管理	事務局					
	■マニフェスト・契約書類の管理						
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示）	通年	全社	全社員	 	
		■トイレの水流し音の継続					
④化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	通年	全社	EA21事務局	  	
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にとりまとめ、従業員に教育する					
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	通年	製造G	該当者	  	
	■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う		全社	品質管理G		
⑥その他	■職場改善による作業効率化	■職場改善を実施し、作業効率化を図る（実績把握）	通年（冬季を除く）	全社	EA21事務局	  	
	■敷地内緑化他	■敷地内緑化を計画し、地域とのコミュニケーションを図るツールとする					年1回
	■環境教育の実施	■環境に関する教育をPJ活動の中で実施する					年2回
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施		会社周辺			

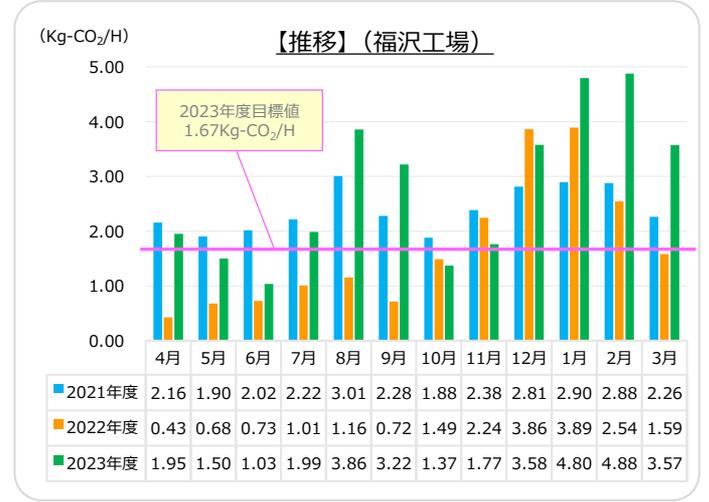
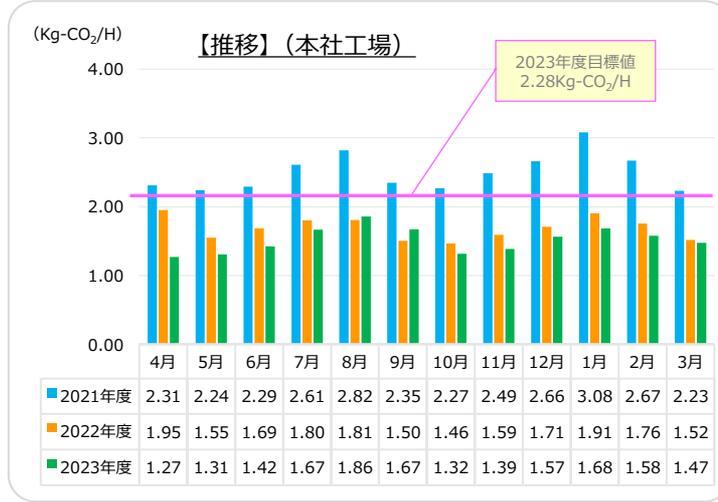
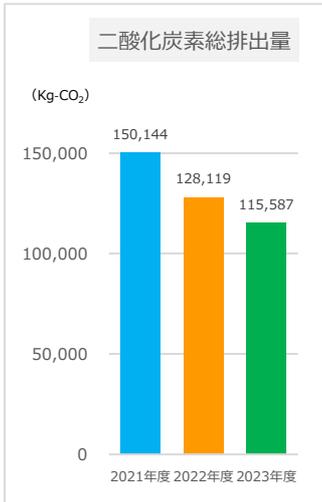
5、環境経営目標・計画の実績と評価

① 二酸化炭素総排出量の削減

(稼働時間当たりの二酸化炭素排出量の削減を目標にしています)

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上~110%未満、△:90%以上~100%未満、×:90%未満

項目		基準値	電気事業者 (排出係数)	2023年度 対象期間			
				目標値	実績	達成率	評価
二酸化炭素総排出量の削減 (電気、ガソリン、軽油、J灯油、LPG含む)	本社工場	2.40 kg-CO ₂ /H	株式会社グリムスパワー (0.463 kg-CO ₂ /kwh)	2.28 kg-CO ₂ /H (基準年度実績値の5%削減)	1.52 kg-CO ₂ /H	133.3%	◎
	福沢工場	1.73 kg-CO ₂ /H	株式会社東北電力 (0.438 kg-CO ₂ /kwh)	1.67 kg-CO ₂ /H (基準年度実績値の5%削減)	2.79 kg-CO ₂ /H	32.9%	×

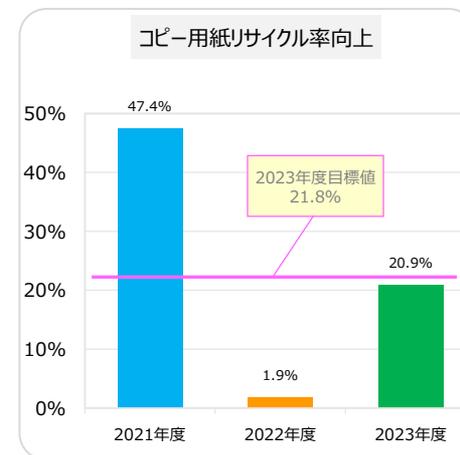
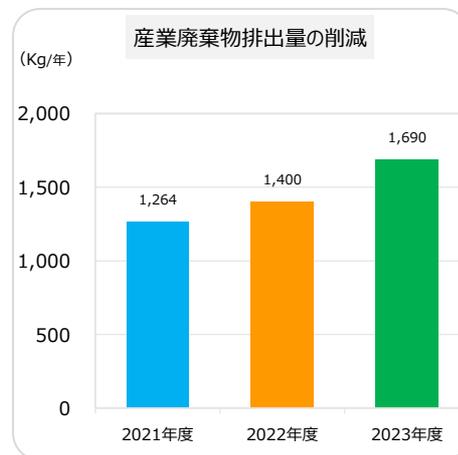


評価コメント) 本社工場：旧式エアコンのHP式への入替えや空調機器の定期点検・清掃に伴う電力量削減、石油FF利用休止による灯油使用量の削減等により、二酸化炭素総排出量を抑えることができた。
 福沢工場：夏冬期間の生産部材恒温湿保管対応が必要となり、その期間の電力量が増えたため大幅に目標を割り込んだ。 来期は維持管理対策を講じ排出量削減に取り組んでいきたい。

②廃棄物排出量の削減

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上～110%未満、△:90%以上～100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2023年度 対象期間			
			目標値	実績	達成率	評価
一般廃棄物排出量の削減	2018年度	1,818kg/年	1,781kg/年 (基準年度実績値の5%削減)	1,530kg/年	114.1%	◎
産業廃棄物排出量の削減	2015年度	2,480kg/年	-	1,690kg/年	131.9%	◎
コピー用紙リサイクル率向上	2019年度	19.8%/年	21.8%/年 (基準年度実績値の5%UP)	20.9%	95.9%	△



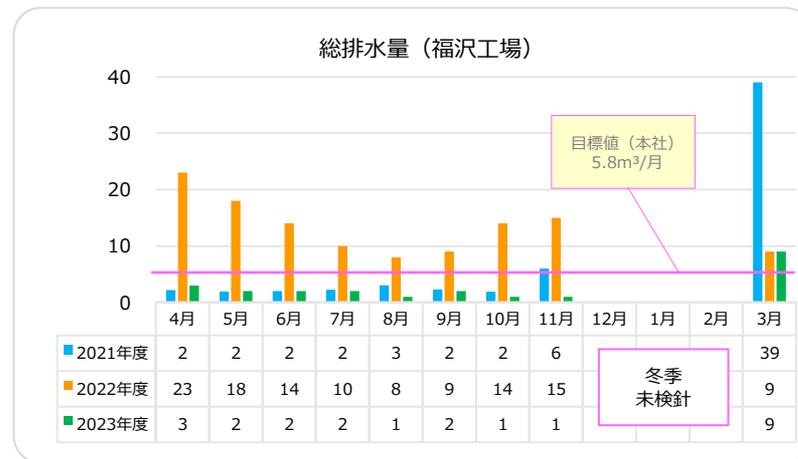
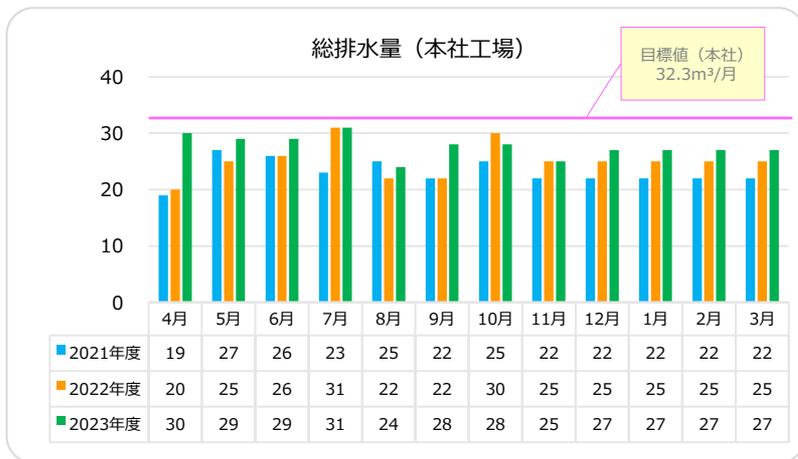
評価コメント) 一般廃棄物排出量の削減: コピー用紙やダンボールのリサイクル活動が定着したが、それ以外についても取り組みを進めていく必要がある。
 産業廃棄物排出量の削減: 目標はクリアしているものの、排出量がこの3年間右肩上がりになっている。3R活動を強化し、来期以降の減量活動に取り組んでいきたい。
 コピー用紙リサイクル率向上: 集計方法に一部誤解があり、コピー用紙購入量に対するリサイクル比としてカウントされていた。取組内容を見直し、来期より改めて省資源化を図っていく。

③総排水量の削減

(1月当たりの排水量の削減を目標にしています)

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上~110%未満、△:90%以上~100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2023年度 対象期間				
			目標値	実績	達成率	評価	
水使用量の削減	本社工場	2017年度	34.0m ³ /月	32.3m ³ /月 (基準年度実績値の5%削減)	27.8m ³ /月	118.2%	◎
	福沢工場	2020年度	6.0m ³ /月	5.8m ³ /月 (基準年度実績値の3%削減)	1.8m ³ /月	169.0%	◎



※冬季間の未検針により調整あり

評価コメント) 本社工場：目標は達成したものの、排出量が3年連続で右肩上がりになっているので、全体的に取り組み内容の改善が必要。

(本社工場の冬季間の水量増加は、大型加湿器を3台導入したことによるもの)

福沢工場：昨年度、一昨年度の計量方法にトラブルがあり参考値として取り扱う。 来年度より基準を変えて水量の削減に取り組む。

④化学物質使用量の削減

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上~110%未満、△:90%以上~100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2023年度 対象期間			
			目標値	実績	達成率	評価
化学物質使用量の削減	-	-	適正管理の実施	作業環境測定 (第一管理区分)	-	○

評価コメント) : 各工場の作業環境測定を実施し、作業環境に問題が無いことが確認できた。来期からは具体的な数値目標を立てて活動したい。

⑤製品・サービス関連

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上~110%未満、△:90%以上~100%未満、×:90%未満

項目	基準年	実績値	2023年度 対象期間			
			目標値	実績	達成率	評価
品質向上 後戻り工数の削減 (不具合の修理・修正にかかった時間)	2020年度	16.1H/月	15.8H/月 (基準年度実績値の6%削減)	活動休止	-	×

評価コメント) : 体制変更による品質活動取組内容の見直しにより後戻り工数の削減活動は休止となった。(別途、品質改善・職場改善活動による作品質向上活動を展開)

⑥その他 (地域環境保全への協力)

(達成率と評価) ○:110%以上、○:100%以上~110%未満、△:90%以上~100%未満、×:90%未満

項目	基準年	2023年度 対象期間			
		目標値	実績	達成率	評価
コミュニケーション向上	環境関連教育の実施	1回/年	2回/年	200%	◎
地域貢献活動	会社周辺の清掃活動	2回/年	3回/年	150%	◎

評価コメント) : コミュニケーション向上、地域貢献活動ともに、目標を上回る活動ができた。



6、取り組み内容と評価

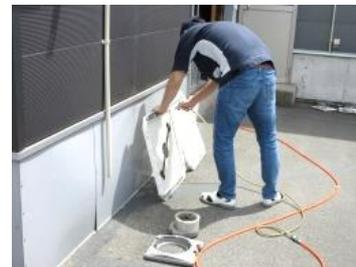
①二酸化炭素総排出量の削減

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的なエアコンのフィルター清掃実施、食堂エアコン入替	○
		■蛍光灯照明からLED照明に切替、通路への人感センサー設置	○
		■電力量・ピーク警報の利用等によるデマンド管理の有効活用	△
		■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	○
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■アイドリング時間の削減	○
		■急発進、急加速はしない	○
		■不要な荷物はおろす	○
		■タイヤの空気圧を定期的に調整する	○
		■エコ運転カードの社有車への設置	○
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■クールビズの促進 ※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	○
		■ウォームビズの促進 ※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	○

～活動の様子～

エアコンのフィルターの定期清掃的と適切な空調管理を実施



②廃棄物排出量の削減

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
廃棄物排出量の削減	■ 一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■ OA紙、ダンボール、雑紙等の分別徹底とリサイクル	○
		■ OA紙使用量の削減 (両面コピー・裏紙利用の継続)	○
		■ トイレトペーパーは芯なしを使用継続	○
	■ 産業廃棄物の適正管理	■ 保管場所の管理	○
		■ マニフェスト・契約書類の管理	○
		■ リサイクル品目の拡大	○
		■ 廃棄物分別一覧表を整備	○

～活動の様子～

OA紙・機密文書の
分別・リサイクル徹底



テプラカートリッジ
回収ボックスの導入

産業廃棄物の分別を徹底



③総排水量の削減

(評価) ○：できた、△：概ねできた、×：未達成、／：未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水の呼びかけ、手洗い場所への掲示	○
		■音姫（TOTO製トイレ用擬音装置）によるトイレの水流し音の継続	○

～活動の様子～

「水を大切に」表示による節水の呼びかけ



「音姫」を活用し節水対応



④化学物質使用量の削減

(評価) ○：できた、△：概ねできた、×：未達成、／：未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続、各工場の作業環境測定実施	○
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、化学物質危険・有害性情報を周知	○

～活動の様子～

使用する有機溶剤毎に色分けと内容表示を実施



化学物質の危険・有害性情報をまとめ関係者に周知



⑤製品・サービス関連

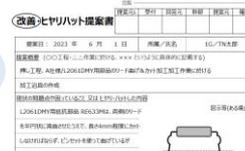
(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
製品・サービス関連	■ 製品の品質向上	■ 半田付スキル向上の認定試験受験を計画するも該当者なし	/
		■ 品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	△
	■ 職場改善による作業効率化	■ 作業改善を実施し、業務効率化を図る	○

～活動の様子～



品質管理、作業改善等による業務改善



⑥その他

(評価) ○:できた、△:概ねできた、×:未達成、/:未実施

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
その他	■ 敷地内緑化他	■ 敷地内緑化、プランター花植え、わくわくワークによる地域とのコミュニケーション	○
	■ 環境教育の実施	■ 廃棄物リサイクル、フロン排出抑制法	○
	■ 会社周辺の清掃活動	■ 周辺道路のごみ拾いや草刈り	○

～活動の様子～

プランターへの花植え



周辺道路のごみ拾い



7、環境関連法規などの遵守状況の確認（評価の結果、違反・訴訟などの有無）

当社が遵守すべき主な環境関連の法規等は以下の通りです。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物を排出する場合：委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返送確認・交付状況報告	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンなどのフロン類の適正な回収と措置	○
下水道法	危険物の流出その他の事故発生時の通報	○
浄化槽法	年1回水質検査を受ける、年1回保守点検・清掃を実施し、その記録を保存する	○
労働安全衛生法	有機溶剤の貯蔵、取り扱いを適正に管理する	○
家電リサイクル法	特定家電を廃棄する場合：リサイクル料金の支払い、家電マニフェストの写しの交付を受ける	○
消防法	危険物の流出その他の事故発生時の通報	○
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合：リサイクル費用の負担、登録業者に引き渡す、引取証明書を受け取る	○

- ・各事項の法遵守状況を確認しました。
- ・環境関連法規に関する違反はありませんでした。
- ・関連機関の指摘や苦情、訴訟はありませんでした。
- ・地域からの苦情はありませんでした。
- ・関係当局からの違反等の指摘や指導は、過去3年間一度もありませんでした。



8、次年度の環境経営目標と環境経営計画

〈 環境経営目標 〉

期間：2024年4月～2026年3月

項目	基準年	実績値	環境経営目標（2024年度）		中期経営目標（2024年度～2026年度）					
			内容	目標値	内容	2024年	2025年	2026年		
①二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量 (本社工場)	(t-CO ₂ /年)	過去3年間の平均 (2021年度～2023年度)	129.3	基準年度実績値の1%削減	128.0	基準年度実績値の3%削減	128.0	126.7	125.4
	■電気使用量の削減 (本社工場)	(kWh/年)	過去3年間の平均 (2021年度～2023年度)	240,655	基準年度実績値の1%削減	238,248	基準年度実績値の3%削減	238,248	235,842	233,435
	■ガソリン使用量 (本社工場)	(L/年)	2023年度	1,526	基準年度実績値の1%削減	1,511	基準年度実績値の3%削減	1,511	1,495	1,480
	■電気使用量の削減 (福沢工場)	(kWh/年)	2023年度	27,094	基準年度実績値の1%削減	26,823	基準年度実績値の3%削減	26,823	26,552	26,281
②廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物処分量	(kg/年)	過去3年間の平均 (2021年度～2023年度)	1,705	基準年度実績値の2%削減	1,671	基準年度実績値の6%削減	1,671	1,636	1,602
	■産業廃棄物処分量	(kg/年)	2023年度	1,690	基準年度実績値の5%削減	1,606	基準年度実績値の15%削減	1,606	1,521	1,437
	■OA用紙購入量	(枚/件)	2023年度	15.39	基準年度実績値の1%削減 (受注案件対比)	15.23	基準年度実績値の3%削減 (受注案件対比)	15.23	15.08	14.92
③水使用量の削減	■水使用量 (本社工場)	(m ³ /年)	2023年度	334.0	基準年度実績値の3%削減	330.7	基準年度実績値の3%削減	330.7	327.3	324.0
	■水使用量 (福沢工場)	(m ³ /年)	2023年度	22.0	基準年度実績値の1%削減	21.8	基準年度実績値の3%削減	21.8	21.6	21.3
④化学物質使用量の削減	■IPA使用量	(L/千台)	2023年度	4.39	基準年度実績値の1%削減 (生産数量対比)	4.35	基準年度実績値の3%削減 (生産数量対比)	4.35	4.30	4.26
⑤製品・サービス関連	■作業改善提案の 具現化（治工具）	(件/年)	2023年度	36	基準年度実績値の10%増加	40	基準年度実績値の30%増加	40	45	51
⑥その他	■コミュニケーション向上	(回/年)	-	-	環境教育の実施	2	環境に関する教育を実施する	2	2	2
	■地域貢献活動	(回/年)	-	-	会社周辺の清掃活動等 (道路・側溝等)	2	会社周辺の清掃活動	2	2	2

〈 環境経営計画 〉

期間：2023年4月～2024年3月

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつ)	該当場所・部門 (どこで)	担当者 (だれが)
①二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	4月、10月	全社	生産技術G
		■照明器具の改善	通年	〃	EA21事務局
		■デマンド管理の有効活用	〃	〃	〃
		■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	〃	〃	全社員
		■クールビズの促進（作業環境：28℃）	冷房期	〃	〃
		■ウォームビズの促進（作業環境：20℃）	暖房期	〃	〃
		■夏冬期間における生産部材の適正恒温湿保管設定	夏冬期間	福沢工場	該当者
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■SMT工程におけるN ₂ 発生装置の効率化	第2Qから	SMT	〃
		■急発進、急加速はしない	通年	社有車	社有車運転者
		■不要な荷物はおろす	〃	〃	〃
②廃棄物排出量の削減	■リサイクルの推進	■タイヤの空気圧を定期的に調整する	〃	〃	総務G
		■エコ運転カードの社有車への設置	〃	〃	〃
	■廃棄物処分量の削減	■リサイクル品目の拡大と分別徹底	通年	廃棄物置場	EA21事務局
		■OA紙、ダンボール類のリサイクル継続	〃	〃	〃
		■トイレトペーパーは芯なしを使用継続	通年	全社	全社員
■産業廃棄物の適正管理	■OA紙削減（複合機活用による電子化の推進）	〃	〃	〃	
	■3R活動の推進	〃	廃棄物置場	EA21事務局	
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	EA21事務局
		■水使用時の節水（掲示）	通年	全社	全社員
		■トイレの水流し音の継続	〃	〃	〃
④化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	通年	全社	EA21事務局
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する	〃	〃	〃
		■化学物質の使用量の削減	〃	〃	該当者
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	通年	全社	該当者
	■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	〃	〃	全社員
⑥その他	■作業改善による業務効率化	■敷地内緑化や社内外における環境コミュニケーションの実践	通年	全社	EA21事務局
		■環境に関する教育をPJ活動の中で実施する	年2回	全社	〃
		■環境コミュニケーション活動	〃	〃	〃
■環境教育の実施	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年2回	会社周辺	〃
		〃	〃	〃	〃



9、代表者による全体の評価と見直し・指示

【全体の評価】

(1)環境経営システムが有効に機能しているか

- ▶計画に沿った活動の実行や要改善項目の見直し図られており、システムは有効に機能していると判断する。

(2)環境への取組は適切に実施されているか

- ▶一部目標未達の活動はあるものの、概ね対応できている。改善ポイントを追及し、来期目標に向けて取り組みを進めていくこと。

【見直し・指示】

- ▶今期目標未達となった3項目については是正を図り、来季取組の必要性を精査すること。
- ▶新たな中期計画を策定するとともに、EA21活動についての理解を深め、引き続き活動を継続していくこと。
- ▶関係者による活動だけでなく、社員全員が環境活動を意識して取り組めるよう推進してほしい。
- ▶来期は、当社活動に影響の大きい「はんだ」に関する項目をテーマに加えた環境活動を検討してほしい。



最後まで読んでいただきありがとうございました

